

市長タウンミーティング概要（大谷公民館）

令和6年3月3日（日）10:00～11:15

○意見交換

〔質問〕

今泉小学校について質問したい。海老名市が予測している今泉小学校の児童数のピークは約1,100人で、現在の児童数は約1,000人である。主に扇町や泉地区の駅前のマンション等に住んでいる小学生が約500人と認識。また、そのマンションに住んでいる5歳以下の子どもは倍の約1,000人で、子どもたちが小学校に入学する2030年頃には今の学区だと約1,600人になり、市が予測する1.5倍くらいの人数になるのではないかと感じる。一方で、隣の上星小学校は空きがあると感じている。駅周辺の学区再編が必要ではないのかと考えるが、市長の認識を伺いたい。

〔回答〕

駅前の児童数については市の課題でありピーク時は約1,300人になると想定している。対策として高学年が利用する校舎の増築を行った。この校舎には廊下がなく、エントランス周りに教室を配置し、ロッカーも移動式で広く使えるような設計である。このような近代的な校舎づくりを検証の1つとして、今後どのような校舎づくりが適切か考えていく。

学区の再編については、教育委員会が考えているところ。駅周辺にお住まいで、上星小学校に近いご家庭は上星小学校に通っていただくことも考えられる。また、一部地域については、今泉小学校または上星小学校を選んで通えるよう柔軟に対応をしている。今後、私立学校に通う児童数も加味したうえで、校舎の増築等を検討していく。

児童数が多いと教職員を増やす必要があるが、教職員を増やすと校長と教頭だけでは管理できなくなる。県に副校長の配置を要請しているが進んでいないため、今年から校長代理のような役職で事務補完できる職員を1人配置する。

一番大変なのは保育園で、保育園の設置を進めているところ。約20年前、平成16年の保育園数は民間と併せて10園であったが、現在は39園になっている。しかし、それでも足りていない。民間園の増築も相談をしながら対応しているところ。

〔質問〕

歩道の改良の要望である。

市道31号線の大谷生協付近から横須賀水道道までの付近の歩道が片側しかない。この地域の住民は高齢化しており、児童とともに高齢者も安心して通れるようこの歩道を改良してほしい。大谷地域はコミュニティバスの開通等で生活の利便性は向上しているが、当該歩道は40年程前に通学路としてかさ上げした歩道である。かさ上げ

した歩道は高齢者にとって段差があり歩くのが困難であることから、歩道を切り下げ車道と同じ高さにし、歩道であるとわかるようにポールを立てるなどしてほしい。

また、7年程前からであるが、自宅前の側溝の蓋が昼夜問わず車の通行等で大きな音が鳴ることに長期間悩んでいた。広報えびなで道路に関する案内を拝見し、道路管理課へ相談したところ、自宅に帰る前には職員2名が該当箇所の対応をしてくれていた。非常に素早い対応で感謝しているため、一言お礼を申し上げたい。

〔回答〕

内容について承知した。所管課と相談しながら検討していく。

かさ上げた歩道は市内に多くあり、地域によっては歩行者の安全のため50cmほど上げた歩道もある。安全性など総合的な観点から検討していくため、お時間をいただきたい。歩道を下げると歩道に面している住宅に問題が生じる可能性もあるため、その点も含めて検証していきたい。

〔質問〕

海老名市は法人税が極端に少ないと認識。市長が20年間に渡り行ってきた都市計画は、どのように整備されているか。まちというのは、工業団地を整備し企業を誘致するのが一番であると考えており、海老名は工業団地を整備していないように感じる。そのあたりについて市長の考えを伺う。

道路を区画していくのが都市計画であると認識。費用・年数はかかるが、南から北まで大きな道路を整備し、まちがどのように変わるかイメージをしてもらい、大規模な都市計画を実施していただきたい。

別件で、国分のマンション計画が断念された件について、市長の意向によるものか、それとも団体による運動が功を奏したのか市長の考えを伺う。

〔回答〕

平成19年の海老名市における法人市民税は約30億円であったが、リーマンショックで約18億円まで落ちてしまったことがある。法人市民税は企業の経営状況で税収に差が出てきてしまう。

一方、固定資産税は市の条例に基づき評価され、そのまま海老名市に税金が入るため安定している。固定資産税は伸びており、海老名市にとって良い状況である。

雇用が生まれる企業の誘致が問題。南部で物流倉庫や郵便局が建設され、多くの市民が雇用されている。今後も法人市民税と雇用のバランスを考えながら進めていきたい。

道路の整備による都市計画について、海老名市の大きな道路は県道・国道である。市道であれば検討できるが、県道はタッチできない。特に駅周辺、中央図書館の付近で道路をつくっているが、都市計画道路下今泉門沢橋線が高架化される予定であるため、高架橋から県道40号へのアクセスができなくなる。その代替として市道道路をつくっている。また、市南部に出るために大きな費用をかけて南伸道路もつくった。南北は対応しているが、東西を対応するためには多額の投資が必要。また、市道だけで対応するには限界があり、県道をどうしていくかが課題。都市計画

は県の許可が必要だが、海老名市は商業地域を駅周辺に集約し、南部には田園風景を残していくように農地の集約を図っていききたい。

マンション計画について、事業者が撤退したのは私の意向によるものでも団体の運動によるものでもなく、事業者が総合的に判断した結果であると認識している。

〔質問〕

40年前と比較し、海老名市は40年間で整備されまちがきれいになっていると認識。海老名駅周辺が大きく変化している一方、少し離れた先は田園地帯があり、そこを農地転用すれば再開発をしなくてもよいのではないかと。

田んぼの中を歩いて駅の方へ向かうと立て看板があり、市役所の向かい側に入浴施設ができると書いてあった。個人の意見として、市役所の前にそのような施設ができるのはどうなのかと調べてしまう。さらに周辺に運送会社の倉庫や、9階建ての集合住宅が建設されると聞いたが、方向性がばらばらだと感じてしまう。もっと区分けをした方がよいのではないかと。

〔回答〕

市で用途地区は決められても、法に基づき、地権者と開発業者が契約によって決めた施設について規制することはできない。土地区画整理事業については、地権者が組織した組合によって施行されるが、行政と一緒に検討を進めるとともに、議会の審議に付した上で補助金を出す等、様々な支援をしている。さらに、開発者は地権者の合意、土地の売却、借地などを図りながら許可を得て土地を利用しており、建築するものについては一定の規制が入る。

倉庫については、施設の中に事務所が入っており複合的な施設となる。現時点で市は中身まではわからない。温浴施設は大手企業が建設するもので、風俗的なものではないと認識している。柏ヶ谷にある温浴施設の利用者は近所に住む高齢者が多いと聞いており、地域の雰囲気悪くするものではないと認識している。地域の雰囲気を悪くすることが無いよう、しっかり指導していく。

〔質問〕

市役所付近の市街化編入区域の周辺で物流センターが2箇所計画されており、交通量の増加が予測される。現状の道路では渋滞が起きるのではないかと。また、環境面や防犯についてはどうか。市役所周辺も開発が進んでいるが、道路、環境、防犯について行政としてどのように考えているか伺う。

〔質問〕

旧厚木ナイロン跡地に倉庫ができるという話を聞いた。倉庫ができることで交通量が増え、道路や周辺交通にも影響を及ぼすのではないかと。

〔回答〕（上記2件の質問に回答）

旧厚木ナイロン跡地にできるのは物流倉庫である。自治会を通じて近隣住民から騒音や交通問題等の要望も届いている。市には「海老名市住みよいまちづくり条例」というものがあり、その条例に従い環境を害さないことや地域住民に不安を与

えないよう指導を行っている。物流倉庫ができることで交通経路の問題が生じるが、規制は警察の指導に基づき事業者が決めているため、市の管轄ではない。物流倉庫を建てさせないことは法律上できないため、事業者には地域住民との話し合いを十分実施したうえで事業を進めるようお願いをしている。

今後建設が始まるにあたって、地域の安全面と防犯面、環境面で十分注意するよう事業者へ伝えている。

開発計画については、具体的に明らかになった時点で指導していく。

〔質問〕

国分寺台三丁目から五丁目までの自治会において、3つの地域の中心にある国分寺台第四公園に自治会館を設置したいという話が出た。委員会等を設置し検討しているが、結論は未だ出ていない。はたして公園というオープンスペースに自治会の人しか利用できない施設を設けて良いのか。また、集会所の設置にあたり近隣住民の総意が必要ではないかと思うが、市長の意見を聞きたい。

〔回答〕

自治会館の話は伺っている。都市公園である以上敷地の2%までであれば使えるが、この面積では自治会館は建てられない。今後、集会所をどう考えていくか自治会で話がまとまった段階で受け取り、対応していきたい。